

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年7月17日(金)発行

【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

手をたずさえて

教職員からのメッセージ No.1

学校再開から約50日が経過し、延長された1学期もあと10日余りとなりました。今回は、小原田中教職員スタッフに生徒のみんなへのメッセージを書いてもらいました。先生方一人一人の思いが込められています。先生方それぞれの個性が溢れていると思います。楽しみて読んでみてください。

3学年

生徒の皆さんこんにちは。もうすぐ夏休みですね。楽しみですか？先生は楽しみです。さて、皆さんは、この難しい状況の中でも何事もなくあったかのように「普通」に生活していますね。心の中にはいろいろあると思いますが、君たちはそれをほとんど表に出さずに「普通」に過ごしているので、「すごいなあ」といつも感心しています。これから先も何が起こるか分かりませんが、何が起こっても「心」、「自分」を乱されることなく、しっかりと現実を受け止めながらその変化に慣れ、「普通」にしちゃいましょう。(3年主任 結城克明)



感染症や自然災害など、今までに経験したことのないことが次々に起こっています。みなさんはこの現実を受け止め、新しい生活のしかたや災害への備えなど多くの大切なことを身につけています。大人になったとき、これからの経験を思い出すことでしょう。そして、生活に活かすことができるでしょう。これはこれで、宝です。(ポジティブに！)
(3年1組担任 柳沼俊光)

学校生活の中での友達との楽しいおしゃべりや笑い合い、そしてみんなの笑顔が何気ない日常を楽しく、幸せにするのだと実感している今日この頃です。また、学校生活の中には人を元気づけたり、勇気づけたりする力があります。さて、みなさんは「回復力」という言葉を耳にしたことがありますか？これは、変わりつつある状況に柔軟に対応し、困難から立ち直る能力だそうです。大きな壁にぶつかった時には、あきらめるのではなく、それを迂回する方法を見つけていけるはずですよ！「Go for it!」の気持ちで過ごしていきましょう。(3年2組担任 酒井理恵)



授業・昼休み・放課後という日程がある。／勉強する、身体を動かすという活動がある。話を聞いてくれる友達や先生がいる。／毎日おいしい給食を食べることができる。私は学生ではないけれど、学校で働く者として、このような日常がいかに尊いものなのか毎日実感しているところです。(たまには小休止したい時もちろんありますけどね)学校が再開したとはいえ、コロナによる活動自粛は今後も続き、精神面に対する影響はじわじわくると思います。だから、今は不安とストレスを受け入れて、新しい生活様式のルールを守り、工夫して生きていくしかないのかなと。私は心配なことがあると、そのことばかり考えてしまいます。そういう時は、今やるべきことは何かと考え、それを淡々と進めるように心がけています。そのことに集中して、心配事を頭から追い出すのです。ある大学の先生が、「記録する。」「記念日をつくる。」といいよとおっしゃっていました。記念日??ピンときません。これについては少し考えてみます。よいアイデアがあったら、皆さん教えてください。先のことを考えると暗い気持ちになりがちですが、いずれはワクチンが開発され、このしぼりの多い生活も終わりがくることでしょう。その時まで、みんなで支え合って、共にがんばりましょう。(3年3組担任 高原明美)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、日本だけでなく世界にももたらされています。今なお、注意しながら生活している状況が続いています。先生のところでも、東京にいる大学生の娘はオンライン授業を実施していますが、1月以降、帰省していません。中学生の息子はまさに皆さんと同じ状況で、楽しみにしていた中体連総合大会も実施されませんでした。学校が5月25日から、部活動が6月8日から再開となったわけですが、多くの諸行事が中止や実施形態を変更して行われています。例年とは大きく違っていますが、3年生の修学旅行はぜひ行きたいですね。3年生は中学校生活が1日1日と過ぎていきますが、振り返ったときに貴重な年だったと言えるように、お互い励まし合って生活していきましょう！(3年4組担任 箭内直行)



いっちょ　いっし 一　張　一　弛

頑張ったら、休もう。
休んだら、頑張ろう。
(3年副担任 佐原淳子)



「時を戻そう…by ペこば」のようにはいきませんので、今を大事にして欲しいです。それは学習だけでなく、打ち込める事、友達との遊び、人との関係など生きることすべてにです。
(友垣2担任 上遠野恵美)



1学年

少し前の話ですが、3月の卒業式に合わせて黒板アートを描きました。しかし、コロナによる学校の休業が始まって、描く内容で悩みました。どうなることか不安でしたが、卒業生一人一人の笑顔を描くことに決めました。夜中作業をしていて、約半分の50名の人数を超すまでがつかった。何度も残りの人数を数えました。やっと半分以上を超し、だんだんと全体が見えてくると少しずつ気持ちが変わっていくのがわかりました。休業中、世の中も学校も自分自身も重苦しい雰囲気でしたが、卒業生一人一人の笑顔を描いていくうちに、自分が卒業生から励まされているように見え、「笑顔は何よりの力である」と教わった感じがしました。辛いときでも、また、辛いときこそ、人は笑顔をつくるのが大事です。(1年主任 石井倫明)



自分にできることを考えて、よりよくなるように取り組もう。
(1年1組担任 小川栄樹)

中学校時代は、人生で最も成長する時期だと思います。今日という1日を大切にし、お互い日々成長していきましょう。(1年2組担任 小森裕貴子)



【 Let's Enjoy !!! 】

これは1年3組の学級目標です。クラスみんなで決めた学級目標ですが、本当に良い目標ができな〜と嬉しく思っています。Enjoyは、ただ「楽しもうぜ!」ということではありません。学級が居心地の良い、安心して過ごせる場になるためには、お互いを信じる気持ちや思いやり、相手の気持ちを考えながら生活することが大切です。それができて初めて「Enjoy」になるのだと思っています。人生でたった3年間しかない中学校生活が、みなさんにとって忘れられない思い出深い日々になってほしいと、いつも願っています。みなさんもぜひ、中学校生活を本当の意味でEnjoy!!!してください。

(1年3組担任 伊藤久恵)



何かと混乱が続いている中、みなさんが誠実に学業に勤しむ様子や各種委員会活動などに主体的に取り組んでいる姿にいつも感心していました。まもなく、1学期終了という区切りを迎えます。3年生は進路に向けての努力にエンジンを切り替えてがんばってください。1・2年生は3年生を手本に、先生方と手を携えて新たな伝統と校風づくりに臨んでいけたらと思います。(1年4組担任 二宮太郎)



コロナウイルスの影響で休校中、ふと耳に入ってきた曲がありました。FUNKY MONKEY BABYSの「大切」という曲です。その曲を聴いたとき、小原田中生的ことが思い浮かびました。色々我慢することも多く不便なこともあります、一緒に活動できること、とても嬉しく思います。今、自分たちでできることを考えて一緒に頑張っていきましょうね!



「あなたが笑って あなたの声がして
普通に日が暮れて また明日ねって手を振る
ありふれて見えても あたりまえなんかじゃない
あなたという日々が 何にも代えられない
大切 大切 大切 ……」 FUNKY MONKEY BABYS「大切」より (1年副担 大澤香織)



過去は変えられないが、自分と未来は変えることができます。今、目の前に起こったことが現実であり、それを受け入れて、次に進んでほしいと思います。
(1年副担 添田正幸)